

# 注意が必要な動植物

## 植物

野外活動に出かける前に、注意が必要な植物を紹介します。特に、触れるとかぶれをおこすウルシ類などは、注意が必要です。**これらの植物を見かけたら、必要以上に近づかないようにしてください。**  
 ※詳細は、サービスセンター受付でお貸し出ししている参考図書：図鑑を参照してください。

### 触れるとかぶれるもの

葉や茎に触れると、かぶれる可能性がある植物です。どの程度触れるとかぶれるかは人によって差がありますが、葉に触れる程度なら平気な人もいれば、木の下を通っただけでもかぶれてしまう敏感な人もいます。



ヤマウルシ

【特徴】葉は楕円形で、葉柄は赤みを帯びていることが多い。葉の表面や葉柄には、細かな毛が生えている。羽状複葉という、小さな葉が集まって一枚の葉を構成

特徴的な葉の形をしている。羽状複葉の葉を見たらまず「ウルシでは？」と疑ってみることが必要。



ツタウルシ

【特徴】ウルシ類の中で最もかぶれやすいとされるのがツタウルシである。名前の通り、ツタのように伸びるツル植物で、山間の木の幹や岩に巻き付いていることが多い。葉は三出複葉と呼ばれる形で、三枚の葉がワンセットになった特徴的な形をしている。

その他：ヌルデ、ハゼノキ

### 食中毒を起こすもの

以下に紹介するものは毒性が強く、食中毒を起こす可能性があるものです。しかし、毒性の強弱にかかわらず、野草を食用することは危険が伴います。これらの植物を誤って口にすることを防ぐように注意してください。  
 ドクゼリ、アセビ、マムシグサ、キノコ類

## 動物

野外には毒を持つ昆虫など、人にとって危険な生き物もいます。安全な野外活動を行うためには、これらの生き物の生息場所となる**草むらの中にむやみに入らないようにしてください。**また、野外でこれらの動物に出会っても、**必要以上に近づいたり、追い払おうとしてこちらから攻撃しないようにしてください。**  
 ※詳細は、サービスセンター受付でお貸し出ししている参考図書：図鑑を参照してください。

### 毒をもつ動物

以下に紹介する動物は、かまれたり、刺されたりすると危険な動物です。活動中はこれらの動物を見かけても、むやみに触れたりしないように気をつけてください。

スズメバチやミツバチなどのハチ類、マムシやヤマカガシなどの毒ヘビ、ムカデ、毛虫